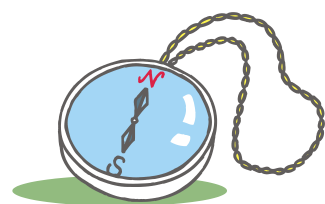


# 羅 針 盤



第 **19** 号

令和3年（2021年）10月25日（月）

## ◆ 私たち全員が力を合わせることが必要です

新型コロナウイルス感染症が全世界の各地で発症して、まだ日も浅い頃ではあったけれど、感染者が急増し、誰もが不安を募らせ始めた2020年3月18日に、ドイツのアンゲラ・メルケル首相は、ドイツ国民に危機的な状況と呼びかけたスピーチの中で、「私たちは全員が力を合わせることが必要です。」と強く訴えかけました。スピーチの冒頭では、国家の首相であるという立場を超えた、同じ一人の市民として「市民の皆さん」とドイツ国民に呼びかけ、「自由であることの権利を軽はずみに制限してはならないけれど、今は、命を救うために、制限されることを避けることはできない。」と、そして、「この感染を乗り切るために必要なことを全て実行する。」、また、「生活に必要な物資の供給を絶やすことはしないので、お互いに思いやりのない行動は慎みましょう。」と話されました。彼女のスピーチはこの後、政府のできることは限られてはいるものの、一人ひとりの行動が何よりも大事であると、「今起こっていることを真剣に受け止めてほしい。パニックになる必要はない。だけど、自分一人くらい関係ないと、一瞬でも思わないでほしい。どうしてもよい人は誰一人としていない。誰もが当事者であり、私たち全員が力を合わせることが必要です。」と呼びかけは続き、「私たちは、この危機を必ず克服する。私たちは、制限を受け入れ、互いに支え合うことができる。これまでに私たちが経験もしたことのない出来事ではあるが、私たちは、心を許し合いながら、理性的にふるまって、命を救うことができる。このことが、私たち一人ひとりに問われているけれど、あなた自身とあなたの家族の健康を願う気持ちが、この困難を必ず乗り越えていくでしょう。」と話されました。全員が力を合わせることが、どれほど重要なことであるか、生徒の皆さんには、日々の学校生活を通じた中からも、是非実感してほしいことであると思います。



## ◆ 文化祭に向けて

1学期の終業式に発表されましたが、文化祭に向けた今年のスローガンは、「みんなが主役 みんなが笑顔 ～住中の文化祭が楽しくない可能性これ一切ない～」です。10月29日（金）に行われる文化祭の取り組みが、先週の18日（月）よりスタートしています。コロナ禍による厳しい状況がまだまだ続いてはいますが、生徒の皆さん一人ひとりが主役となって活躍する機会があり、そして、誰もがあふれんばかりの笑顔で文化祭の当日を迎えられることを望んでいます。去る9月13日には、幕間ショーのオーディションも行われ、また、音響・照明講習会も実施されました。各学年・各学級での活動を中心としながら、文化祭実行委員や各クラスの文化委員の生徒の皆さんを中心に、本格的な取り組みがすすめられており、文化祭の本番に向けて、誰もが主役となれるよう、一人ひとりが与えられた役割を責任をもって全うしてもらいたいと思います。各学級や各学年で話し合いをすすめながら、つくりあげた台本をもとに、創意工夫を凝らして、伝えたいメッセージを舞台発表という形でしっかりと表現し、その成果が文化祭当日には発揮されることを大いに期待しています。

